

観察会報告
御前崎磯の観察会
横山謙二



タイドプールができた御前崎海岸



アゴハゼやイワガニ、ヤドカリなど

6月22日(土)御前崎海岸にて、磯の観察会を行いました。この日は、まだ6月だというのに暑い日でしたが、天気が快晴で22人もの参加がありました。この観察会は以前、私が手首を骨折してしまってから、開催していなかったため、久々の開催となります。

干潮時刻の10時頃に浜に降り、みなさん散らばって、おのおの生き物の採集を始めました。私も潮が引き、できたタイドプールを覗きながら、イソガニやヤドカリなどを採集していました。

お昼頃集合し、みなさんが採集したものを一つの水槽に集め、東海大学の高見先生や学生さんなどに、採集された生物について説明してもらいました。

採集された魚類は約10種で、一番多く見られたものがアゴハゼでした。また、中には、大きく恐ろしい歯を持つウツボやチョウチョウウオの仲間のチョウハンやフライチョウチョウウオの幼魚などの魚も採集されていました。

甲殻類は、イワガニ、シヨウジンガニ、イボイワオウギガニなどの8種が採集されました。イワガニには、フクロムシに寄生さ



採集物の説明

れているものが多く見られました。また、貝類は岩に付着していたコガモガイやヨメガカサ、アラレタマキビ、キクノハナガイ、カラマツガイなどが採集されました。

その他、ハバノリやフサイフツタなど海藻類なども採集されていました。

その後も、少し採集を続け、アメフラシの仲間などが採集され、13時頃、潮が満ち始めるころ、終了しました。今回は、だれも怪我することなく、無事観察会を終了することができました。そして、普段見られない、磯の生物を多く観察でき、楽しい観察会となりました。